

広島音楽高等学校の休校について

謹啓 春暖の候 ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。平素より本学園諸活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

さて 既にご承知の通り、広島音楽高等学校は生徒減のため平成二十七年四月より生徒募集を停止しておりましたが、本年三月をもって最後の生徒を無事に送り出し、在校生が不在となる平成二十九年四月より休校することとなります。

顧みれば、昭和二十四年に広島真宗財団広島音楽高等学校として創設され、爾来、六十八年の長きにわたり浄土真宗のみ教之のもと、音楽の専門教育を行う単科・単立の高等学校として、三八八七名の卒業生を音楽界や教育界等に送り出してまいりました。二年前の募集停止決定以来、関係者一同は、寂しい思いに負けることなく、卒業生をはじめとする先人の皆様が刻まれた素晴らしい歴史に恥じない学校づくりをして有終の美を飾ろうと決意いたしました。特に、この一年間は最後にふさわしい年にするため、在校生、保護者、卒業生、教職員等が一丸となって諸事に取り組み、昨年秋の定期演奏会や本年一月の卒業演奏会は、多くの有縁の皆様のご協力もいただき、いずれも立ち見の方が出るほどの超満員のお客様をお迎えして、大盛会のうちに終えることが出来ました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。今後、見真学園といたしましては、見真幼稚園とそれに付随する広島音楽アカデミーの充実を図りつつ、新たな創造と展開を模索し、学園の発展を期したいと思います。六十八年の長きにわたり、広島音楽高等学校を支え育てて頂きました皆様方のお力添えに敬意と感謝の気持ちを表しますとともに、益々のご活躍を念じ、休校のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

合掌

二〇一七(平成二十九)年三月三十一日

学校法人見真学園 理事長 安部 恵 証

学園長 河野 義 範

広島音楽高等学校 校長 研井 貴馨子